



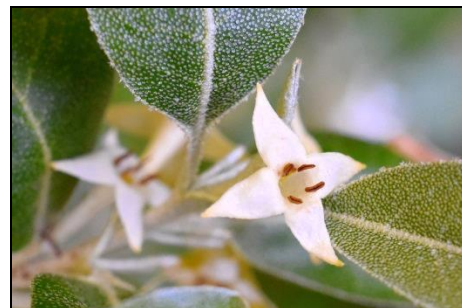
テイカカズラ(キョウチクトウ科)
常緑のツル性の木本。「テイカ」は藤原定家のこととされる。



ノイバラ(バラ科)
シューベルトやウェルナーが作曲した歌曲「のばら」で歌われています。



エゴノキ(エゴノキ科)
下向きの白い花を付ける。昨年は数輪しか咲かず。しかし、今年は写真のとおり満開です。



アキグミ(グミ科)
果実が秋に熟すことから「アキグミ」と呼ばれ、葉に銀色の毛が密生しています。



スタジイ(ブナ科)
花が咲いた翌年の秋にドングリが実る。



タラヨウの雄花(モチノキ科)
葉の裏に文字が書けます。郵便局の木。雌雄異株。



窓ガラスをつつくヒヨドリ(ヒヨドリ科)
毎日、窓ガラスに映った自分の姿を威嚇して、窓ガラスをつつき回しています。



シロシタホタルガの幼虫(マダラガ科)
タンナサワフタギの葉を食べています。



カクレミノの新葉(ウコギ科)
古い葉と新しい葉の対比がおもしろいです。

カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています
三木山森林公園 検索

みどころ Mikiyama

令和元年5月下旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります。

カキツバタが咲いています
ノイバラが咲いています

カクレミノの新芽が見られます

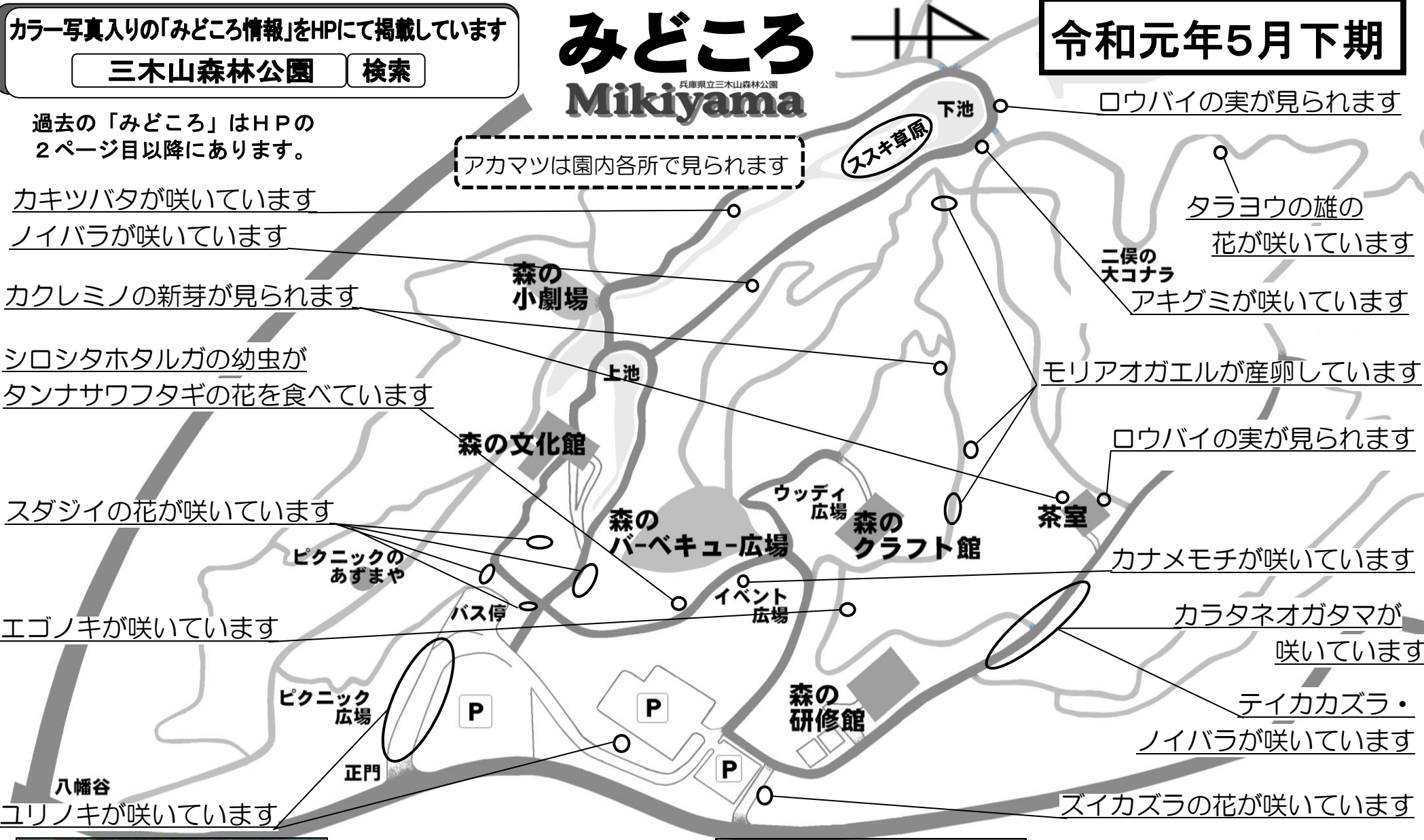
シロシタホタルガの幼虫がタンナサワフタギの花を食べています

スタジイの花が咲いています

エゴノキが咲いています

ユリノキが咲いています

アカマツは園内各所で見られます



ロウバイの実が見られます

タラヨウの雄の花が咲いています

アキグミが咲いています

モリアオガエルが産卵しています

ロウバイの実が見られます

カナメモチが咲いています

カラタネオガタマが咲いています

テイカカズラ・ノイバラが咲いています

ズイカズラの花が咲いています



アカマツの花粉(マツ科)
スギ、ヒノキの花粉の飛散が終了した頃からマツの花粉が飛び始めます。



ロウバイの実(ロウバイ科)
花が終わると、実(偽果と呼びます。)が出来、中に「そう果」が入っています。



カキツバタ(アヤメ科)
紫色の花が咲きます。花びらの中央が白くなることで、ハナショウブやアヤメと区別します。



ユリノキ(モクレン科)
別名チューリップツリー、葉の形からハンテンボクとも呼ばれます。花は高い場所に咲きます。



カナメモチ(バラ科)
房状の白い花が咲いています。秋から冬にかけて赤い実が熟します。



スイカズラ(スイカズラ科)
ツル性の木本で、白い花が段々と黄色くなります。別名「ニンドウ」。



カラタネオガタマ(モクレン科)
花はバナナの様な香りがします。



ススキ草原の2回刈り取り(イネ科)
今年は、ススキ以外の植物にも日光がよくあたるように、草原の半分を年に2回刈り取ります。